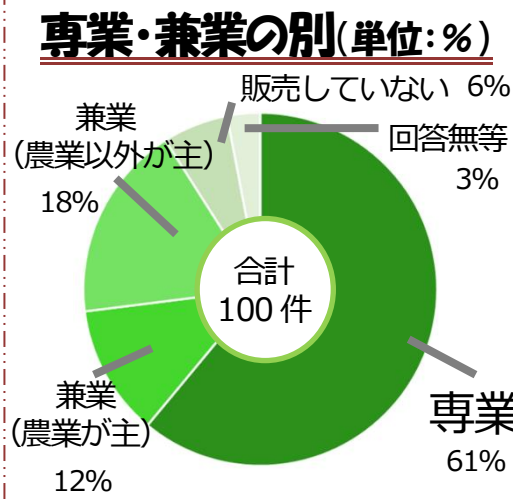


アンケート調査の結果概要

調査対象の総数は 315件（個人…309件 集落営農団体…6団体）で回答状況としては、100件（回答率31・7%）でした。回答者別の性別の内訳は、男性が66%、女性が28%、集落営農団体が2%、回答無が4%という結果になっています。回答者の年齢構成をみると、20歳～39歳までは5人、40歳～59歳までは23人、60歳～85歳以上は70人という結果になっています。

また、専業・兼業の別をみると、左記グラフの結果となっています。



▲ 専業・兼業の別についてのアンケート結果
回答の内訳としては、専業の方が61%、兼業（農業からの所得が主）が12%となっており、農業を主とする方からの回答が多数を占めた。

後継者について

後継者については、いないが42%、すでに就農しているが30%、将来就農予定が6%、わからないが21%となっており、60代以上の担い手を中心となっている現在において、4割の方が、後継者がいないということになり、今後の八千代市農業を担っていく後継者不足に課題があるように感じます。

耕作放棄について

所有する農地の中で耕作放棄地があるかどうかの質問については、あると回答した方が42%、ないと回答した方が51%となり、約4割の方が耕作放棄地があると回答されました。

耕作していない理由については、「農地の条件が悪い」18件、「農地の借り手がいない」15件、「耕作しても採算が取れない」11件という結果でした。

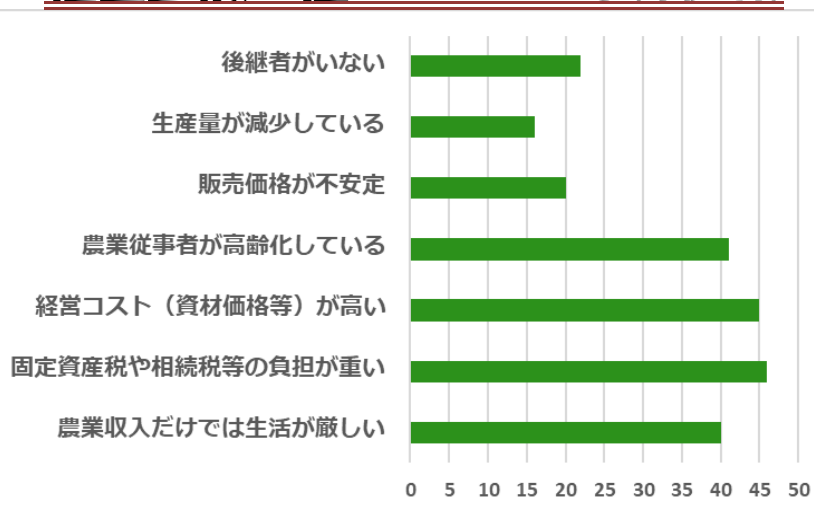
また、「後継者がいないことにより耕作できない」が8件挙げられており、後継者不足との関係性も見えました。

経営(収入)の状況

収入の状況については、「ほぼ横ばいである」47%、「減少傾向にある」19%、「増加傾向にある」8%となっており、現状維持から下降の傾向があると読み取れます。

経営全般で悩んでいることについては、経営コストが高いが45件、農業収入だけでは生活が厳しいが40件等、左記のグラフのとおりとなっています。

経営全般で悩んでいること(単位:件)



▲ 経営全般で悩んでいることのアンケート結果（一部抜粋）
その他の回答として、新高が高温障害で年々収量が減っている。歩道と車道の凹凸、車道などのインフラ整備等の意見が挙げられた。

あなたが考える八千代市農業の良さ(単位:件)

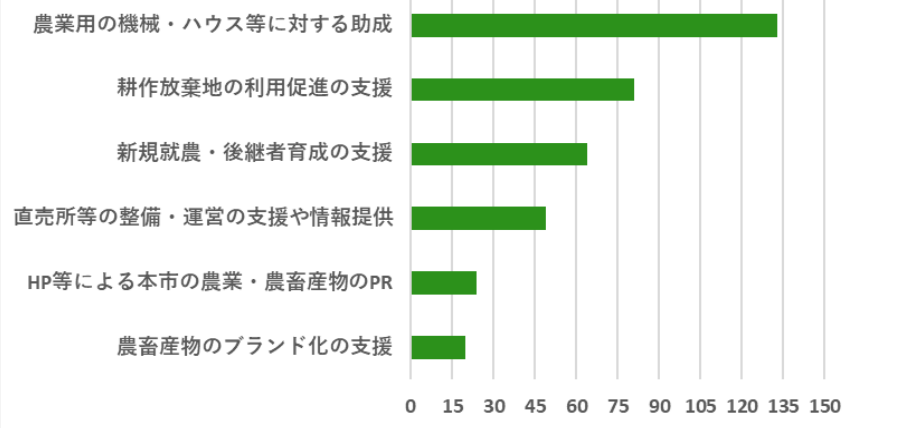


▲ あなたが考える八千代市の農業の良さについてのアンケート結果 (一部抜粋)
 その他の回答として、今風の農業が出来る可能性のある地域であるという意見が挙げられた。

あなたが考える八千代市の農業の良さについては、直売等で消費者と直接交流ができるが56件、野菜や梨など有力な農産物があるが37件、市場が消費地に近いが29件という結果になっています。また、この他にも、記載無が19件と多く見受けられました。

八千代市農業の良さ

行政に期待・要望すること(単位:点数)



▲ 農業振興のために行政に期待・要望することのアンケート結果 (一部抜粋)
 結果として農業用の機械・ハウス等に対する助成への要望が一番高い結果となった。

行政に期待・要望することとして、選択肢の中から要望の高い順に3つ選択して回答していたいただきました。
 回答いただいた順位に基づいて、1位に選ばれた項目については3点、2位は2点、3位は1点と点数を付け、それぞれ点数の高い順に並び変えたグラフが左記のグラフとなります。

行政への期待・要望

自由意見(一部抜粋)

- 同じ八千代市でも場所により環境はさまざま、その地域にあった考え方をしてほしい。
- 行政と農協の連絡を密にとつてほしい
- 部落が高齢化しており若い人は勤めており、耕作放棄地が多くなってきた。再基盤整備の話をしているが、話し合いがつかない。
- 耕作放棄地が多々見受けられますが、その一方で新規就農したいがかかりられないという方もいらっしゃるようです。私自身農業に係るようになってから日が浅いため知識が乏しく具体案を挙げられませんが、何とかならないものかと思っております。
- 有害鳥獣による作物被害に何十年も困っている。また、耕作放棄地からの雑草の種の飛来にも困っている。

お知らせ

「八千代市の農業振興に関するアンケート調査」の結果の全情報については、農政課ホームページ等に掲載予定です。そちらをご覧ください。